

# 朝倉 哲郎 氏

(高校20回卒)

東京農工大学 名誉教授

専門：絹利用学、高分子の NMR 構造解析



## <経歴>

- 1972年 3月 東京理科大学 理学部 一部化学科 卒業
- 1974年 3月 東京工業大学大学院 理工学研究科 修士課程 修了
- 1977年 3月 同 博士課程 修了 [博士(工学)]
- 1980年 4月 日本大学松戸歯学部理工学教室 助手
- 1981年 2月 東京農工大学工学部 助教授
- 1990年 4月 米国フロリダ州立大学化学科 招聘教授
- 1993年 12月 東京農工大学工学部 教授
- 2015年 4月 東京農工大学 名誉教授・特任教授
- 2021年 4月 東京農工大学 名誉教授
- 2023年 4月 小田原高校 SSH 運営指導委員

## <主な活動内容>

東京農工大学工学部製糸学科に助教授として着任し、絹と NMR の研究をスタート。

1997-2001年、生研機構大型プロジェクト代表を務め、絹の研究が大きく進展。

研究を開始して 20 年後、家蚕絹の繊維化前構造を決定し、世界初の絹製人工血管を開発、特許・論文や国際会議で発表し、多くの大型プロジェクトに連続して採択。(合計：各年毎に1億程度の研究費)

2014年には現所属の特任教授として、超高機能構造タンパク質による素材産業革命というインパクトプロジェクトを実施中。

2019-2021年、科研費基盤 C (3年間) 題名：自己再生型の高強度動脈用および高弾性静脈用小口径絹人工血管の開発。

2020-2022年、東大病院・ニプロ共同研究開発プロジェクト (3年間) 題名：静脈用

に特化した絹フィブロインーポリウレタン人工血管の開発（分担）。

### <受賞歴、メディア実績、発行物等>

高分子若手奨励賞（1982）、蚕糸学会進歩賞（1986）、繊維学会桜田武賞（1989）、繊維学会賞（1997）、高分子学会賞（2000）、東京農工大学第一回工学府ベストリサーチャー賞（2009）、プラスチック成型加工学会論文賞（2014）、高分子学会功績賞、繊維学会功績賞（2015）などを受賞。日本核磁気共鳴学会特別講演者（2015）、繊維学会名誉会員（2019）、NMR学会名誉会員（2022）

TBS『夢の扉』出演、中日新聞一面トップに極細1ミリ絹で人工血管の記事掲載（2012）  
ほか、新聞記事掲載多数

### <高校時代はどんな学生だった？>

高校時代は、どちらかというと目立たない学生でした。

中学時代は毎日サッカーに打ち込み充実していましたので、残念ながら、高校時代の受験勉強は、全くの空白期間でした。

大学に入り、すぐ、大学紛争がありました。自分のこれまでと今後を徹底的に考える機会を得、今後の歩みを決めたのは、この大学での4年間でした。

180度転換、極めて積極的になり、今日の土台は、その時に出来上がりました。そういう意味では、4年間の大学生活が大きな転機となりました。活動などにも所属せず、5、6人の友人と遊ぶなど、地味にのんびり過ごしていたので、残念ながらこういったところで披露するような思い出やエピソードはありません。

### <在校生・卒業生（後輩）へのメッセージ>

私は工学博士号をとってから3年間、研究室で基礎研究を続けながら、生活のため、下町のめっき会社の顧問をしました。その後、歯学部の手を1年経験してから東京農工大助教授になりました。回り道のように思え、当時は不本意でした。

でも、今思えば貴重な経験でした。企業での経験があるからこそ、研究成果を実社会でどう生かすかという発想が生まれました。歯学部時代の知り合いとは、現在も共同研究をしています。

自分の専門分野だけでは限界があります。常に大局を見（これは趣味の囲碁から学びました）、国内外を問わず、様々な分野の研究者と協力し、コミュニケーションを密にする。人間関係は極めて大切です。学生は、社会で役立つことを念頭に、誰も取り組んでいない新たなテーマに積極的に挑んでほしい。志があれば、初心は貫徹できます。

